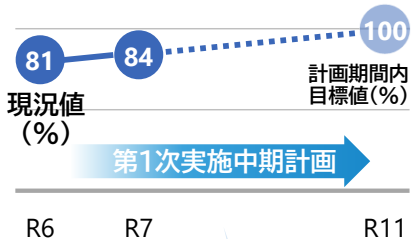


【86】防災・減災及び災害対応に資する地理空間情報の整備【国土交通省】

指標名：陸域における主要活断層帯の活断層図(全300面)の整備完了率

■ 全国値

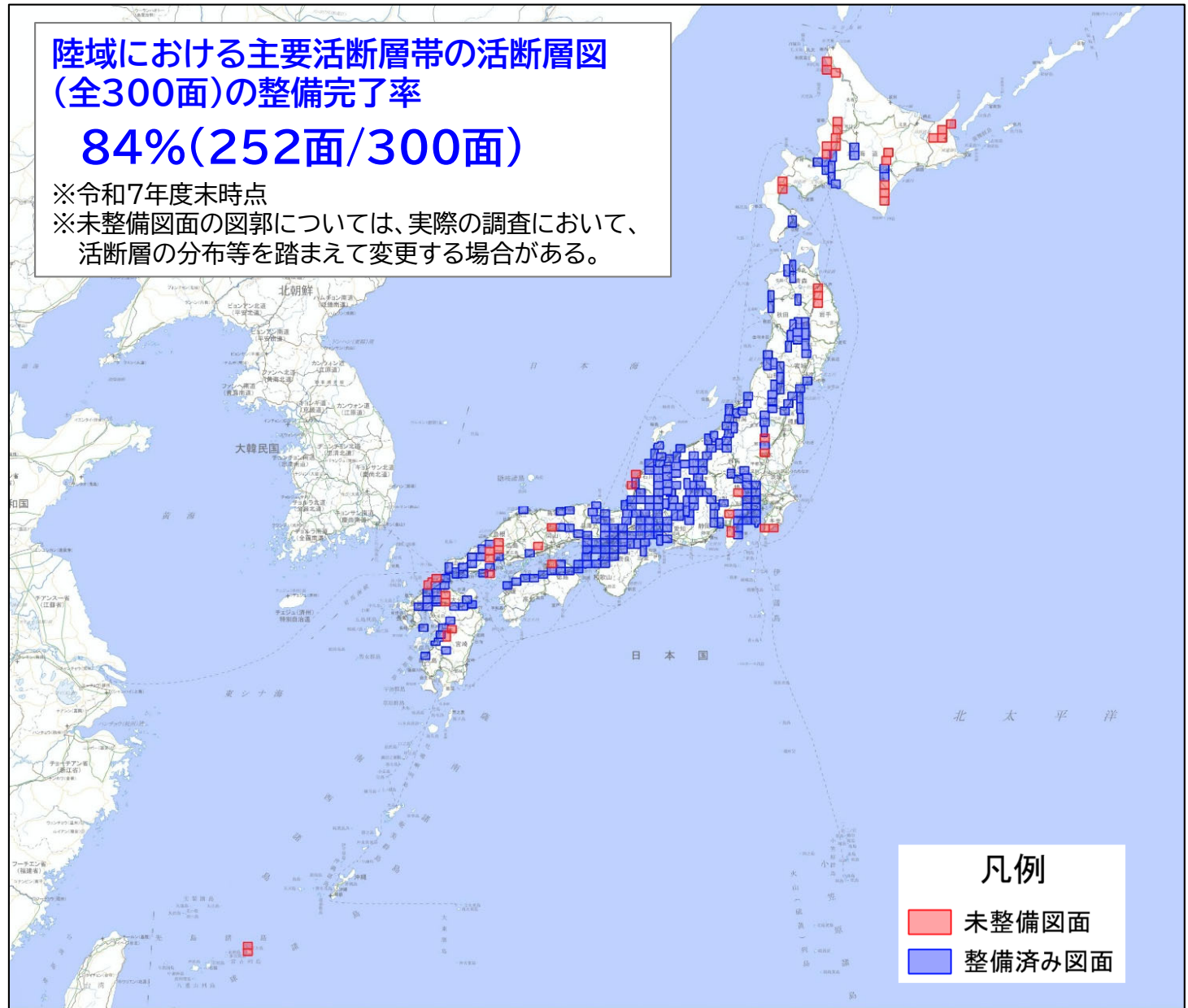


※陸域における主要活断層帯の活断層図(全300面)の整備状況

陸域における主要活断層帯の活断層図(全300面)の整備完了率

84%(252面/300面)

※令和7年度末時点
※未整備図面の図郭については、実際の調査において、活断層の分布等を踏まえて変更する場合がある。



■ 指標の定義

$$\frac{\text{((整備済みの活断層図の図面数))}}{\text{((主要活断層帯を包含する範囲の図面数))}} \times 100$$

■ ポイント

災害リスク評価や災害対応の基盤となる地図情報の整備等により、災害時の被害低減に貢献し、国民の生命と財産を守る。

■ 用語解説

●活断層図
…空中写真や詳細な標高データを用いて活断層を判読し、既存の調査結果も参考にしつつ、その活断層の位置、形状等を地図上にとりまとめたもの。

【86】防災・減災及び災害対応に資する地理空間情報の整備【国土交通省】

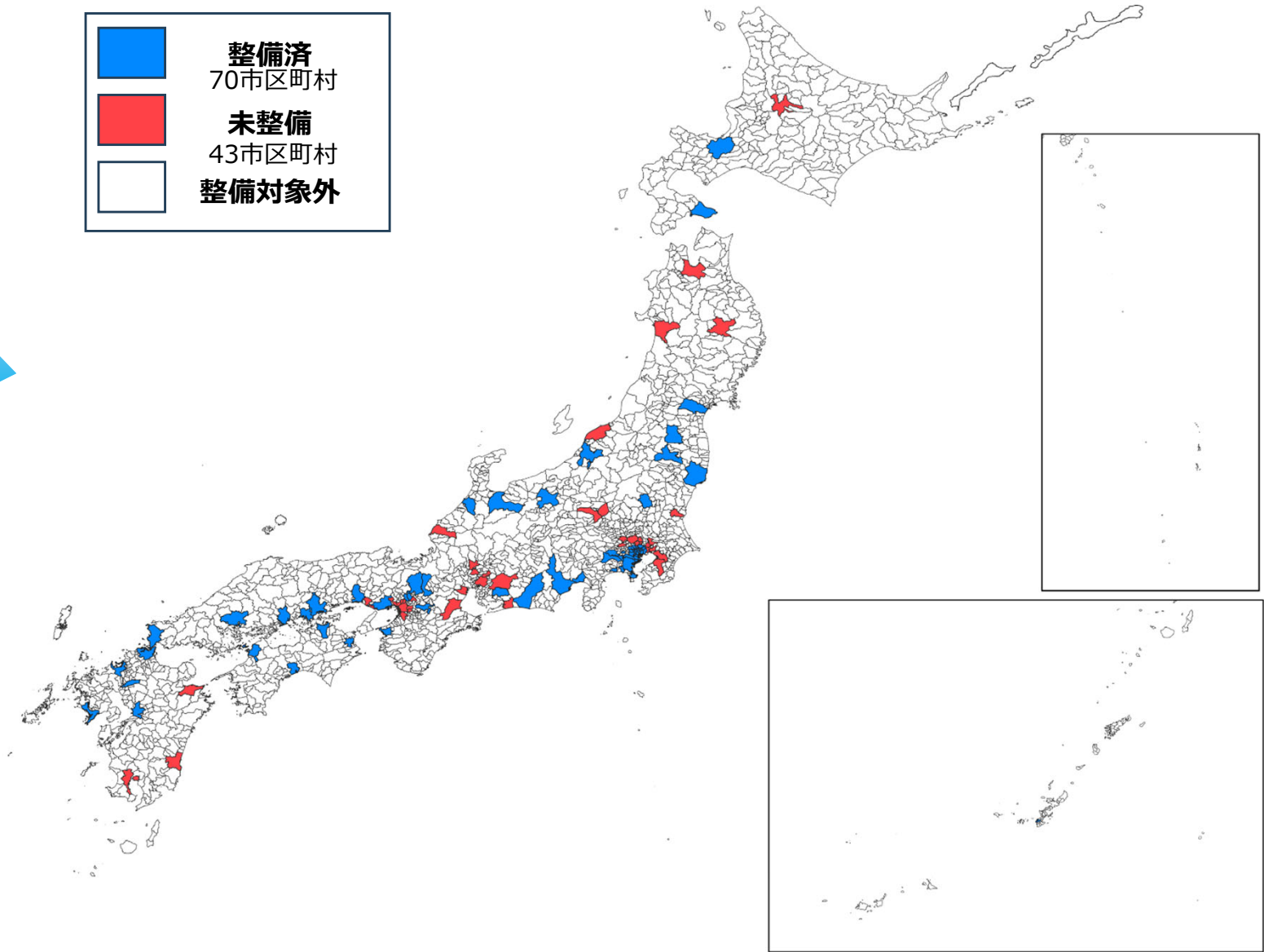
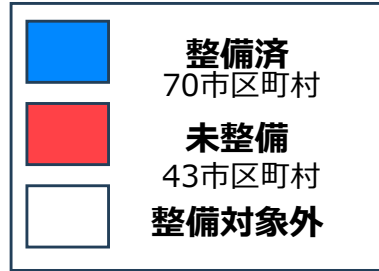
指標名：浸水区域の特定に必要な都市部(全国の人口おおむね25万人以上の市区町村及び特別区：113市区町村)における1mメッシュ標高データの整備完了率

■ 全国値



■ 市区町村別

※都市部(113市区町村)における1mメッシュ標高データの整備状況



見える化

■ 指標の定義

$$\left(\frac{\text{((1mメッシュ標高データ整備済みの都市部の市区町村の数))}}{\text{(都市部の市区町村の数)}} \right) \times 100$$

■ ポイント

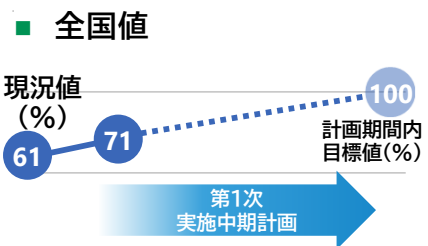
災害リスク評価や災害対応の基盤となる地図情報の整備等により、災害時の被害低減に貢献し、国民の生命と財産を守る。

■ 用語解説

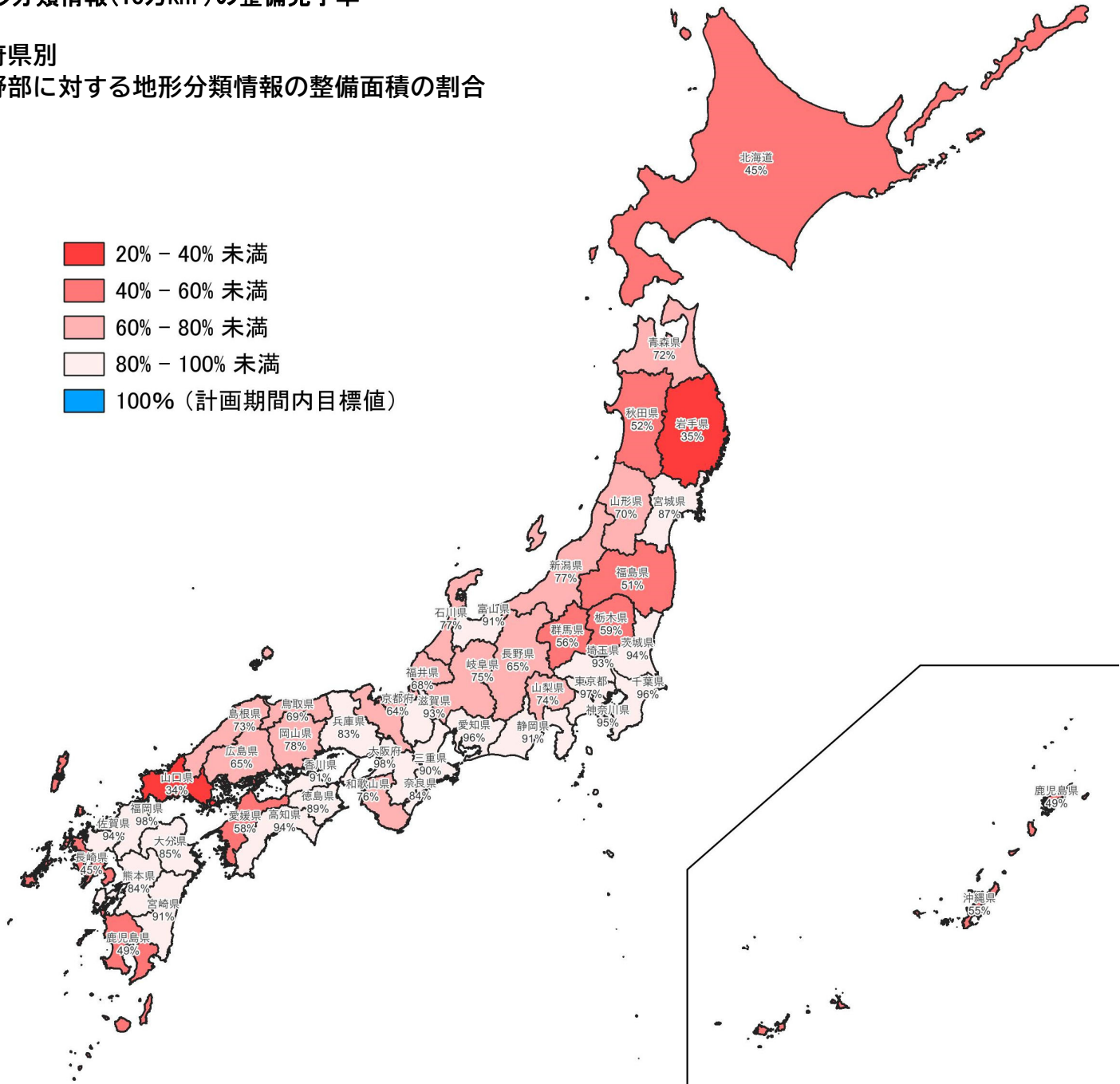
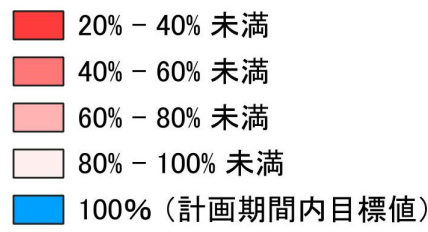
●1mメッシュ標高データ
…航空レーザ測量から整備している解像度1mの詳細な地形の起伏が表現されているデータ。デジタルツインの実現に不可欠な3次元地図等の基盤となるデータであり、浸水想定、土砂災害等の自然災害のソフト対策にも非常に有用な国土の基盤情報。

【86】防災・減災及び災害対応に資する地理空間情報の整備【国土交通省】

指標名：災害リスク評価の基礎となる平野部における地形分類情報(10万km²)の整備完了率



■ 都道府県別
※平野部に対する地形分類情報の整備面積の割合



見える化

■ 指標の定義

((整備済みの地形分類情報の面積) / (平野部における地形分類情報の整備対象面積)) × 100

■ ポイント

災害リスク評価や災害対応の基盤となる地図情報の整備等により、災害時の被害低減に貢献し、国民の生命と財産を守る。

■ 用語解説

● 地形分類情報
…地形を形態、成り立ち、性質などから分類したもの。例えば、その土地が山地か台地か低地か、また同じ低地の中でも高燥な土地か低湿な土地か、あるいは自然の地形を人工的にどのように改変しているか、などを区分している。

(令和7年度末時点)